



2023 年度
第 28 号

体育市民連帯 ニュースレター

張ミラン次官任命
スポーツ英雄の
消費でないことを
願う



ウ・サンヒョクの
高空行進
6年ぶりにアジア陸上
選手権優勝



クリケット代表
杭州
アジア大会に
行けなくなった



乗馬協会杭州行き
チャーター機を確保
選手1億ウォンの負担
なかったことに



世界の
女子サッカー選手たちが
W杯を迎え
気候行動に乗り出す

東京五輪
段ボールベッド
来年パリ五輪
選手村も再導入



大韓民国スポーツの
根本的変化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



01 スポーツ人権研究所 学校体育統合チーム イ・ビョンホ

張ミラン次官任命、スポーツ英雄の消費でないことを願う

・メダリストのチャン・ミランから体育行政家のチャン・ミランの姿を見せてくれることを期待しながら



メダリストの文化体育観光部第2次官任命をどう見るか。

重量挙げメダリストの張ミラン教授（以下、張次官）が体育行政家である次官としても成功できることを願う。しかし、そのためには今まで歩んできたスポーツ英雄としての記憶をしばらく置いておかなければならない。なぜなら、スポーツ英雄の体育行政家の能力を保障しないからだ。韓国にはすでに数十年間体育政策を研究し悩んだ多くの体育行政家と政策専門家、そして体育改革に貢献した数多くの専門家が並んでいる。そのような専門家たちを後にして「スポーツ英雄」張ミラン次官が任命されたことは体育界に対する政界の認識水準をそのまま反映する。

まだ韓国は体育分野のイメージが「スポーツ英雄」に代弁される時代だ。オリンピックやワールドカップなどのスポーツイベントで、韓国を代表する選手たちの試合を観戦し、代理競争でスポーツを消費するレベルだ。その裏に半世紀以上続いている数多くの学生選手の落伍と犠牲、非教育的な学校運動部の育成過程については問題意識がない。たまに事件と事故でニュースに上り下りすることに対する認識程度だ。学生選手、運動選手が特別だという傍観者の態度が一般的だ。しかし、学生選手、運動選手は特別ではない。同じ学生で市民だ。張ミラン次官の任命も特別に見てはならない理由だ。

メダリストの能力は体育行政家の能力ではない。

どんな人物がどんな仕事をするのに適していると評価されるためには、これまでその仕事のためにどれだけ持続的な努力をしてきており、能力を立証できる業績を立ててきたのかを通じてだ。新たに任命された張次官の場合、それではなく五輪メダリストとしてのイメージ、スポーツ英雄として見せた能力以外に、韓国の体育行政を総括するほどの能力を見せていないため憂慮の声があるほかない。

もしスポーツ英雄として成功したように次官として成功することを期待すれば明らかな「権威への誤り」だ。市場で商品売る時に有名な人気芸能人の広告が通じるように体育分野を総括する重大な文体部2次官の能力をメダリストだからとってうまくいくと期待するのは、体育政策の重大さを描いたイメージ水準で見る以上でも以下でもないだろう。そのため、張次官が少なくとも次官職を遂行する時だけは、スポーツ英雄のイメージから脱することができることを願う。うまくいくだろうという期待はスポーツ英雄張ミランに対するものではなく、韓国の体育政策に対する根強い判断と実践にかかっている。

イメージを脱ぎ、まっすぐな政策判断で進んでほしい。

選手時代、世界的な重量挙げ選手としてオリンピック金メダルを獲得する快挙を成し遂げたが、その金メダルの旅程ですれ違った数多くの中途放棄学生選手に対する悩みがあったなら、彼らが放棄者にならない政策を考えることもできる。しかし、金メダルの旅程はひたすら自分の重量挙げ競技力向上のために点綴

されただろう。もしかしたら、韓国社会で成功した大多数がそのように能力と努力の当然の結果と考えるかもしれない。

実際、張次官が学位を取得して教授に任用される過程で、韓国の体育政策と専門体育システムに対する意見を表明したコラムや文は見当たらない。それが一番心配なところだ。張次官が「熱心に」次官職を遂行することは体育政策の前面に立つということの意味するため、体育政策に対する自身の観点を持ってきちんと遂行しなければ、前政権の崔ユンヒ前次官がそうであったように政治的イメージで消費される次官になったり、韓国体育政策の問題点を放置した次官になりかねない。

「熱心にする」より「しっかりやる」ことが重要

張次官は力量不足という憂慮に対して「熱心に」と話したが、運動選手の時の返事と変わらない。次官という重大な職務にふさわしい体育行政家に変身できるよう努力してくれることを期待する。そのためには現存する体育政策を維持することであり、体育政策の問題点を「きちんと」把握し実質的な改革と変化を導くための努力が必要だ。

張次官自ら学校運動部を通じて成長しただけに、現在学校運動部が置かれている生徒の権利がどれほど深刻に侵害されているかが分かるだろう。過去、実業チームの選手として大学で勉強したいという意見で体育界の話題を投げかけたのもまた、勉強に対する張次官の意志を示した事例だ。もちろんアマチュアとプロは区別されなければならない。しかし現在、学校運動部では現実的に勉強したくてもできない構造だ。

学生選手たちが勉強できるように

長年学校運動部は我が国の専門体育システムを維持する基盤になってきたが、学習をあきらめなければならない現実を甘受してきたのも事実だ。そして今、学生選手の正常な学習はほとんど不可能な状況に置かれている。大会出場による認定欠席日が大幅に拡大したためだ。勉強したくても事実上難しく、勉強か運動かの二者択一をしなければならない。

運動に選択しても結局途中であきらめて脱落せざるを得ない大多数の学生選手が敗北者になる。運動が好きな学生たち、それで勉強と運動を並行しようとする潜在的なスポーツ天才たちは学校運動部に背を向けるしかない。学生選手だとしても勉強を並行する政策なら全く問題にならない。

韓国の体育政策の総括はチャン次官自身のように成功したメダリストと専門体育従事者だけでなく、数多くの中途放棄学生選手たち、そして大多数の一般学生、ひいてはすべての国民のための体育政策を含むことだ。そのような視野で体育政策を展開してくれることを心から期待する。スポーツ英雄ではなく、まともに働いた体育行政家として位置づけられてくれることを心から期待する。

2023.07.11

02 ハンギョレ 2023.07.16

ウ・サンヒョクの高空行進、6年ぶりにアジア陸上選手権優勝



ウ・サンヒョク（27、龍仁市庁）が6年ぶりにアジア陸上選手権のトップを奪還した。

ウ・サンヒョクは15日（現地時間）、タイ・バンコクのタイ国立競技場で行われた2023アジア陸上選手権大会男子走高跳決選で2m28を超えて優勝した。2m15からスタートしたウ・サンヒョクは、2m19、2m23、2m26、2m28をいずれも1回で越えた。1位を確定した後、今季自己最高記録の2メートル33

に挑戦したが失敗した。これでウ・サンヒョクは2017年インド・ブバネスワル大会（2m30）以来6年ぶりにアジア選手権チャンピオンになった。

今年初め、副鼻腔炎手術と足の負傷などで苦労したウ・サンヒョクは、落ち着いて上昇軌道を描いてきた。5月6日ドーハダイヤモンドリーグ2位（2m27）、杭州アジア大会代表選抜戦を兼ねた5月9日醴泉KBS杯優勝（2m32）、5月21日横浜ゴールデングラプリ優勝（2m29）、ローマ・フィレンツェダイヤモンドリーグ2位（2m30）など高空行進を繰り返して、昨春しばらく明け渡した世界陸上連盟ランキング1位にも復帰した。

アジア選手権直前大会の2日、ストックホルムダイヤモンドリーグでは悪天候に阻まれ、最初の高さで挑戦した2メートル16を3回とも越えられないこともあったが、2週間で一気に吹き飛ばした。ウ・サンヒョクは大韓陸上連盟を通じて金メダルの喜びを伝えながら「今年8月ブダペスト世界陸上選手権と9月杭州アジア大会、そして来年パリ五輪で良い姿をお見せできるよう最善を尽くす」と話した。

出典：https://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/1100309.html

03 ハンギョレ 2023.07.17

クリケット代表、杭州アジア大会に行けなくなった



韓国クリケット代表チームが最近、杭州アジア大会出場不可の通知を受けた事実が確認された。両クリケット協会間の葛藤の中で最終エントリー提出締め切り期限を過ぎたためだが、一部では大韓体育会責任論も提起されている。

17日<ハンギョレ>の取材を総合すれば、韓国クリケット国家代表選手たちは2022杭州アジア大会出場が不可能だと11日に通知された。先月24～25日に選抜戦を行い、国家代表30人を選抜して27日に発表したが、大会最終エントリー提出日程に間に合わなかったためだ。

原因は協会間の葛藤だった。現在、韓国には1993年に設立された大韓クリケット協会と2019年に作られた韓国クリケット協会がある。両協会は2019年大韓体育会加入を申請したが、該当種目協会は「唯一の」団体でなければならないという大韓体育会規定で両方とも加入できなかった。2023年2月に該当条項が改正されたが、まだ再審査がなされていない。

結局、両協会は代表チームの選抜を一緒に進めた。当初、大韓クリケット協会は3月に国家代表選抜戦を行ったが、大韓体育会が韓国クリケット協会と共に代表チームを選抜しなければならないと要求した。この過程で選抜条件をめぐる双方が綱引きをし、一部の選手は3月に代表チームに選ばれたにもかかわらず、再び選抜戦を行わなければならなかった。

大韓クリケット協会のキム・ナムギ会長は「ハンギョレ」に対し、「我が協会は2011～2017年、大韓体育会所属だった。現在、国際クリケット協会(ICC)に加入した唯一の韓国協会」として「韓国クリケット協会は2017年会長選挙に不満があった人々が作った団体で私たちが妨害するために作った組織」と話した。キム会長は「誰が見てもどちらが正当性のある協会なのか知っている状況でも、大韓体育会はこの問題を傍観した」と話した。

反面、大韓体育会は「種目団体の中で派閥がある組織は1、2ヶ所ではない」として「両側が直接調整しなければならず、大韓体育会が介入するのは難しい問題」と話した。

一方、韓国クリケット協会はハンギョレに「立場を明らかにすることはできない」と語った。

出典：https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1100499.html

04 聯合ニュース 2023.07.16

乗馬協会、杭州行きチャーター機確保…「選手1億ウォンの負担」取り消し



杭州アジア大会に出る選手たちに「1億ウォン自費負担」を要求し論難の中心に立った大韓乗馬協会が馬輸送費を節減する突破口を見つけたと言う。

大会参加費用を半分以上減らす方法を見つけたおかげで、国家代表選手たちも金銭的負担を大幅に減らすことになる見通しだ。

16日の聯合ニュース取材を総合すると、乗馬協会は最近、大韓航空などの協力を得て、9月中旬に仁川空港から杭州まで貨物チャーター機で移動する「臨時路線」の確保に成功した。

乗馬協会関係者は「杭州まで直行する貨物機を借りることで大韓航空側と協議した」とし「大韓航空が乗り出したおかげで馬の輸送費が28万ドル(約3億5千万ウォン)まで下がった」と明らかにした。

続いて「運航日まで確定したわけではないが、遅くとも9月中旬には杭州に移る計画」と付け加えた。

現在、国内から杭州に直行する貨物路線がないが、国土交通部など関連機関が協議の末に今回の杭州アジア大会のための「臨時路線」を作ることにしたというのが協会の説明だ。

このままでは航空料に輸送代行業者に支払う代金・人件費などを加えた総派遣費用は最大6億ウォン台になる展望だ。

本来、今大会の参加費は最大13億ウォンと推算された。

大会組織委員会が独占契約したドイツ代行会社に航空輸送を一任しチャーター機なしで馬を移すにはヨーロッパ-杭州路線を利用せざるを得なくなり輸送費が8~9億ウォン台に増えたためだ。

5億ウォン台だった2018ジャカルタ・パレンバン大会より倍以上増えたが、杭州に行く空の道がない状況で代案も適当ではなかった。

馬輸送が可能な貨物航空便のある上海や香港に馬を先に移した後、陸路で杭州まで移動する案は組織委が検疫を理由に許可しなかった。

協会は費用を賄う方法がないという判断から、5月の理事会で選手たちに少なくとも1億ウォンずつを自費で負担しなければならないという条件を掲げ論難の中心に立った。

選手たちの反発が続いただけでなく、「実力よりお金」が代表選手選抜の基準になる姿がスポーツの核心である公正の価値と反するという批判が伴った。

これに対してパク・ソヨン会長は直接描いた漫画をソーシャルネットワークサービス(SNS)に掲載し「選手たちは韓国乗馬の夢であり未来だが、協会は韓国乗馬の現実を支えることも難しい」と事情を訴えた。

昨年、選抜戦を通じてすでに出場権を獲得した9人の選手は、ひとまず「辛くて泣きながら辛子を食べる(訳注：いやなことを仕方なくするたとえ)」ことでこの条件を受け入れた状態だ。最終エントリーに名

を連ねることができなければ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行の余波で大会が1年延期されるまでして5年を待ってきたアジア大会出場機会を失うことになるためだ。

協会は杭州行きの飛行便ができ、彼らの負担額も2千万ウォン以下に下がるものと見込んでいる。

協会関係者は「ひとまず大会期間に飼料価格と個別に雇用する馬管理士の人件費は自主負担してほしいと要請した。ここに各種付帯費用を合わせれば(負担額が)2千万ウォンまで出る可能性もある」とし「選手たちが払う分を最大限減らす方法を模索する」と話した。

ジャカルタ・パレンバン大会当時、自主予算が足りなかった協会は5億ウォン程度の選手団派遣費を積立金などで苦勞して用意した。

今回は公的基金性格の積立金に手を出さないという立場だ。

この関係者は「派遣費の一部を支援する後援会社候補を探して協議中」とし「これに競技力向上費など大韓体育会の補助金も加える予定だ。残りの費用はパク会長と役員陣が分けて負担しようと思う」と明らかにした。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230716001300007?input=1195m>

05 ニュース 2023. 07. 16

世界の女子サッカー選手たちがW杯を迎え、気候行動に乗り出す



2023 FIFA オーストラリア/ニュージーランド女子ワールドカップでサッカー史上最大規模の選手主導の「気候行動イニシアチブ」が始まった。13日(現地時間)、英ガーディアンによると、デンマーク国家代表ソフィー・ユングエ・フェデルセンを筆頭に44人の選手が2023 FIFA オーストラリア/ニュージーランド女子ワールドカップを行き来する航空便を利用して気候

変動関連行動イニシアチブに参加することにした。

フェデルセンはデンマーク国家代表チームと自分の所属チームであるユベントス FC ウィミンの同僚たちに気候行動関連アイデアを提案し支持を受けると、このアイデアを英国気候関連サッカー非営利団体であるフットボール・フューチャー、全世界サッカー界人物の環境運動団体コモンゴールなどに共有した。

これらの団体と共にするイニシアチブは、科学的方法論に基づいて選手たちがワールドカップに参加するために移動する過程で環境に及ぼす炭素足跡を計算し、選手たちが利用する航空便が排出する炭素も計算する。参加する選手たちはこの結果を基に推算された金額をイニシアチブを通じて世界自然基金(WWF)が運営する関連プロジェクトに寄付する。

フェデルセンは「ワールドカップが肯定的な環境遺産を残せるようにしたい」とし「気候変化は人類が直面した最も大きな問題であり、私はその解決策の一部になりたい」と明らかにした。彼女は「現在、航空産業に対する持続可能な(気候変動)解決策はなくても、選手として模範を示し、正しい方向に進む一歩を踏み出している」と付け加えた。

カナダ代表であり、英国チェルシーFC ウィミンでプレーしているジェシー・フレミングもこのプロジェクトに参加している。

フレミングは「気候行動は私が情熱を持っている主題」として「チーム同僚たちと私が取るこの行動が気候に対する議論を加速化し、より多くの環境政策を推進するために運動選手たちができることに対する先例になることを願う」と話した。

フレミングは「このイニシアチブを通じてファン、特に若いサッカーファンにサッカーが『重要な価値を擁護するために自身の声を使うこと』になりうるということを見せてほしい」と明らかにした。

また「これが炭素足跡に対する完璧な解決策ではないということを確認することは重要だ」とフレミングは説明した。彼は「この方法が気候に対して肯定的な方向に進む段階であり、これを筆頭に対話がなされなければならないと考える」と付け加えた。

イタリア国家代表であり AS ローマウィミン所属のエレナ・リナリーは「選手が主導することというのが鼓舞的だ」と参加所感を明らかにした。

リナリーは「すべての選手と同様に私も W 杯で最善を尽くすことに集中しているが、サッカーが地球に影響を及ぼすという事実を認め、これに対する具体的な行動をすることは重要だ」と話した。

彼女は「地球のための『小さな』歩みが非常に重要だということの人々と共有したい。私たちは一緒に世界を変えることができる」と伝えた。

該当プロジェクトを進行するコモンゴールの持続可能性・環境責任者ジェレミー・ヒューシンは「ますます多くの選手、コーチ、クラブ所有者、サッカー行動家、さらにはファンさえもスポーツのあらゆる水準で環境保護活動とつながる地点を探している」と明らかにした。

選手たちが寄付するイニシアチブを通じて WWF のコアラ、海岸、植樹プロジェクトなどが支援される予定だ。このイニシアチブに関心のある人なら誰でもフットボールフューチャーに連絡して参加できる。

出典：https://newsis.com/view/?id=NISX20230713_0002374817&cID=10523&pID=10500

06 釜山日報 2023.07.16

東京五輪「段ボールベッド」来年パリ五輪選手村も再導入



2年前、日本東京で開かれた2020東京夏季五輪で話題になった「ダンボールベッド」が2024年パリ夏季五輪選手村でも使われる。

16日（韓国時間）、ロイター通信、AFP通信、オリンピック関連ニュースを伝えるオンラインメディア「インサイド・ザ・ゲームズ」によると、パリ五輪組織委員会は東京五輪ベッドマットレス供給会社のエアウィーブと契約した。エアウィーブはパリオリンピック選手村、パラリンピック選手村とメディアビレッジなどオリンピック・パラリンピック参加者が泊まる宿舎にベッドとマットレス1万6000個を来年3月～6月に配送する予定だ。大会が終わればパリオリンピック・パラリンピック組織委はこのベッドを慈善団体に寄付する。東京五輪に初めて登場した段ボールベッドは、エコ大会を追求した東京五輪組織委がエアウィーブにリサイクルできるようオーダーメイドしたベッドだ。

ベッドフレームを段ボール材質で設計し、その上にマットレスを敷いた。当時、東京オリンピック組織委員会は幅90センチ、長さ210センチ規模のこの段ボールベッドは約200キロの荷重に耐えられると広報。しかし、当時選手村に宿泊した各国選手たちは木ではなく紙製の段ボールが果たして重さに耐えられ

るかについて様々な映像をソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)に掲載し疑問を示した。2人以上の重さに耐えられないものとみられ、段ボールベッドを「性関係防止」ベッドと嘲弄する選手もいたし、イスラエル野球代表選手9人は1人ずつ数を増やしながらベッドに上がって崩しに挑戦したが、ベッドを結局壊した後謝罪声明を発表した。

出典：<https://www.busan.com/view/busan/view.php?code=2023071618110733198>

07 週間スポーツニュース

江原道春川市の女子バスケットボールコーチ、師弟関係の法廷争いの話は？

<https://www.ajunews.com/view/20230712165443480>

「集団虐待+暴行」SSG2軍、3年ぶりに再び…再発防止が必要だ

<https://sports.hankooki.com/news/articleView.html?idxno=6833938>

「メッシ」は他の話…アルゼンチンの女子サッカー選手が「職業」として認められていない

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230715031300007?input=1195m>

国際サイクル連盟、思春期以降性転換すれば女性部出場禁止

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230716020100007?input=1195m>

「逮捕される可能性もある」開催が不透明になったLGBTオリンピック

<https://view.asiae.co.kr/article/2023071615475767788>

仁川サッカーに迫った異変、コロナ…「コンディションのいい選手で編成」

<https://www.news1.kr/articles/5110413>

チェ・ウンソン、生涯初のオールスター戦本塁打レース優勝…ハンファ選手で3番目

<https://www.news1.kr/articles/5109433>

SSGランダースフューチャーズ、バットで後輩を暴行した選手を追放

<https://www.kyeonggi.com/article/20230713580194>

「障害選手の多様な体験機会、最も大きなやりがい」

<http://www.jejuilbo.net/news/articleView.html?idxno=209638>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>